

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	キャリア開発 I (Carrier Development I)					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学修型 AL / 外部講師招聘 科目
	2010-0-11-002	教養科目	必修	1 単位	1 年次	後期		
2024-26 年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学修型 AL / 外部講師招聘 科目
	2410-0-11-002	教養科目	必修	1 単位	1 年次	後期		

① 授業のねらい・概要						
キャリア形成の基礎知識の習得と能力形成のための基礎的科目である。外部講師の講演も交えて、生涯でのキャリアの意義、キャリアにおいてポイントとなる仕事研究等についての理解を深める。主体性とコミュニケーション力の向上、社会人基礎力の醸成も意図した授業である。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力/コミュニケーション能力を養う授業である。						
③ 授業の進め方・指示事項						
授業担当教員と外部講師による講義形式による授業が中心になる。グループディスカッション、ZOOM 実習等のワークも取り入れる。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課す。各回の授業内容は外部講師の事情等により講義の順や内容が変わる場合がある。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
「キャンパスライフ入門」、「ゼミナール I (前)」、「ゼミナール I (後)」、「日本事情」(留学生)						
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。						
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
山崎京子・平林正樹(2018)『未来を拓く キャリア・デザイン講座』中央経済社						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
自らのキャリアについて考えていけるように、学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進めていく。						
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) キャリアデザインの考え方を理解し説明できる。 (2) 大学時代の自らのキャリア形成の目標を明確にして説明できる。 (3) 社会人基礎力(「チームで働く力」(規律性など))の向上を他者に示せる。 (4) キャリア形成の土台となる一般教養を身につけた。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	キャリアデザイン	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを他者に説明できるとともに、授業内容を超える成果を示している	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを他者に説明でき、実践している	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照することで他者に説明できる	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照し、教員の助言を得ることで他者に説明できる	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照し、教員の助言を得ても他者に説明できない
(2)	キャリア形成の目標	自身のキャリア形成の目標を明確に設定して他者に説明し、それに沿った大学生活の実践を示せる	自身のキャリア形成の目標を明確に設定して他者に説明できる	曖昧な部分を含みながらも、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できる	教員の助言を得ることで、曖昧な部分を含みながらも、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できる	教員の助言を得ても、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できない
(3)	社会人基礎力(「チームで働く力」(規律性など))の向上	授業のルールを完璧に遵守している	授業のルールを十分遵守している			授業のルールを遵守していない

(4)	キャリア形成の土台としての一般教養	与えられた課題を完璧に解答している	与えられた課題を十分解答している(八割以上解答)	与えられた課題を解答しているが、改善の余地がある(七割以上解答)	与えられた課題を最低限の水準は解答している(六割以上解答)	与えられた課題を最低限の水準まで解答していない(六割未満解答)
-----	-------------------	-------------------	--------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		18%		20%	12%	100%
(1) キャリアデザイン	25%		9%				34%
(2) キャリア形成の目標	25%		9%				34%
(3) 社会人基礎力の向上					20%		20%
(4) キャリア形成の土台としての一般教養						12%	12%
評価項目「その他」詳細	米百俵ドリル(スタンダード)「理科」6講分(2%×6)						
フィードバックの方法	課題の返却などで振り返る機会を設ける予定						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス、「キャリア」とは	配布資料の復習	60分
2	キャリアデザインの考え方、オンライン面接の準備	これまでの自己の振り返りのまとめ、ZOOM導入と使用方法確認、米百俵ドリルへの取り組み	120分
3	オンライン面接の実習	オンライン面接のポイントと ZOOM 使用法のふりかえり	120分
4	学生生活とキャリア形成	学生生活における目標の明確化	120分
5	キャリアデザインと学生生活	学生生活における目標の明確化のメモ作成、米百俵ドリルへの取り組み	120分
6	仕事と就職（その1）～職種研究	職種研究についてのふりかえり	120分
7	仕事と就職（その2）～業界研究	業界研究についてのふりかえり、米百俵ドリルへの取り組み	120分
8	仕事研究～職種事例研究（外部講師）	配布資料の問題（職種研究）の振り返り	120分
9	仕事研究～職種事例研究（外部講師）	配布資料の問題（職種研究）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	120分
10	グループディスカッション	ディスカッション結果についての振り返りと展開ノート作成	120分
11	自己分析について	配布資料の問題（自己分析）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	120分
12	ビジネス文書の第一歩～メールの書き方	配布資料の問題（メール作成について）の振り返り	120分
13	就職活動に関する講話	今後のキャリアにむけた活動、大学生活等に関して振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	120分
14	まとめ、振り返り	配布資料の復習、授業全体の振り返り	120分
15	PROGテスト	これまでの授業全体の振り返り	180分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性